

令和3年度 オホーツク西部 森林室立木販売重点目標

オホーツク西部 森林室

1 地域と一体となった取組みの促進 (①)

網走西部流域では、地域が一体となって森林認証に取り組んできたことから当地域の認証材が東京オリンピック・パラリンピックの競技用施設に使用されるなど、着実に認証材の利用が進んでいます。

このため、認証材のブランド化や販路拡大に取り組むとともに、道有林材（地域材）の計画的・安定的な供給に取り組めます。

また、地域の森林整備の担い手である林業事業者の育成のため、長期安定供給販売を実施しています。

2 木質バイオマス燃料材の安定供給②

紋別市にある紋別バイオマス発電(株)は、平成28年12月に稼働し、年間約20万tの木質バイオマス資源（林地未利用材等）を使用しており、地域の林業・木材産業に寄与していることから、林地未利用材等の効率的な搬出・運搬に取り組むなど、木質バイオマス資源の安定供給に努めます。

3 販売目標量

(販売目標量について、上記取組に基づき記載する)

(1) 総販売量

84,400 m³

○一般競争入札

49,800 m³

うち「CoC」限定入札（森林認証取得地域の場合）

15,761 m³

○協定販売

6,800 m³（うち新規 3,800 m³）

うち地域材①		うちバイオマス②	
	うち新規		うち新規
6,800m ³	3,800m ³	m ³	m ³

○長期安定供給販売

7,900 m³（うち新規 m³）

○その他販売

19,900 m³

(2) オープンカウンター販売

3 件

(注) 販売量は立木材積である。「うち新規」とは、当該年度に新たな協定を締結し、立木を販売するものである。